

H29 12/2 (土)
13:30 ~ 16:00

地域資料の展示と今後のゆくえ ～奥三河郷土館リニューアルをめぐって

愛知県設楽町の奥三河郷土館(1960年開館した「設楽町立郷土博物館」が前身)は、現在一時的に閉館し数年後のリニューアル(道の駅に併設)に向けて準備が進められています。郷土館は民俗資料を中心に数万点の地域資料が地道な活動によって収集保存され、これまで先人の歴史を伝えつつ住民に親しまれ利用され続けてきました。收藏されてきた資料は新しい施設に引き継がれ、新たな切り口で展示が行われ活用されていくと思われます。施設の形は変わってもこれからも地域のアイデンティティとしての役割を果たし、更に新たな展開をみせていくでしょう。地域博物館の存在意義がさまざまな観点で話題となっている昨今、今回の研究会では「地域資料の展示と今後のゆくえ」(資料保存と活用・観光)というテーマのもと、具体的事例の紹介をいただき議論を深めたいと考えます。

◆主催/日本展示学会 ◆共催/日本ミュージアム・マネジメント学会(JMMA) 中部支部
◆協力/設楽町教育委員会 ◆後援/全日本博物館学会、愛知県博物館協会

会 場 奥三河総合センター「研修室」

住所: 愛知県北設楽郡設楽町田口字向木屋 2-10 (「奥三河郷土館」近く)

TEL: 0536-62-0100

定 員 40 名 参加費 無料

参加申し込み・お問い合わせ先

- (1) 申込先 JMMA事務局 kanri@jmma-net.org
(2) 申込内容 ①氏名・連絡先 ②所属先 ③研究会の参加 ④懇親会の参加 ⑤送迎の必要 ⑥宿泊の有無
(3) 申込期限 11/26 (日)

日 程 2017年(平成29)12月2日(土)

- 13:00 ~ 受付(奥三河総合センター 2 階「研修室」)
- 13:30 ~ 13:40 あいさつ 日本展示学会 中部地区代表・岡本 靖生、奥三河郷土館館長・渡邊 俊也
趣旨説明 日本展示学会 企画運営委員会 中部地区 委員・松岡 敬二(豊橋市自然史博物館)
- 13:40 ~ 14:20 発表①「奥三河郷土館におけるこれまでの資料収集と展示活動」奥三河郷土館学芸員・石井 峻人
- 14:20 ~ 15:00 発表②「リニューアルされる郷土館の今後」(株)乃村工芸社デザイナー・志水 俊介
- 15:00 ~ 15:10 ー 休憩 ー
- 15:10 ~ 15:55 ディスカッション
- 15:55 ~ 16:00 あいさつ JMMA 中部支部長・角谷 修
- 17:00 ~ 18:30 懇親会(奥三河総合センター内「山河」5,000 円程度)

◆設楽町教育委員会のご厚意により当日の 12:30 ~ 13:15 まで、現在閉館中の奥三河郷土館を特別に見学できます。
◆12/2、3は奥三河の花祭である「中設楽の花祭」が開催されます(国重要無形民俗文化財)。
・会場/東栄町 中設楽生活改善センター前・中設楽花祭舞庭
・時間/13:00 ~ 翌日 18:00

交通のご案内



アクセス

- ・車: 新東名高速「新城 IC」→(国道 257 号線経由) 40 分
- ・新幹線 東京方面より(ひかり 505) 東京 8:33→豊橋 9:57
大阪方面より(のぞみ 114) 新大阪 8:30→名古屋 9:20→(こだま 640) 名古屋 9:29→豊橋 9:57
- ・豊橋駅と会場との送迎(片道約 1 時間半)を行う予定です。事前申込が必要です。
豊橋駅西口ロータリー付近 10:10 集合(レンタカー実費片道 1,000 円で負担をお願いします)

その他

- ・終了後、宿を希望される方は手配いたします(東栄町「とうえい健康の館」)。事前申込が必要です。
シングル 5,000 円～。定員になり次第メ切。相部屋の可能性もあり。送迎は確保します。

関連情報

愛知県奥三河地方には魅力的なスポットが多くあります。研究会の前後に是非お訪ね下さい。

- 設楽町内には、豊橋鉄道旧田口線跡(かつて鳳来町～設楽町田口を結んでいた鉄道)、設楽ダム建設予定地などがあります。
- 豊田市稲武町「古橋懐古館」は、奥三河総合センターより北方 22 km(車で約 30 分)。
現在改修工事中ですが、12/1～12/10(12/4、7 は休館) 一部開館されます。
◇企画展『奥三河のまつりごと～修験・神楽・木食・念仏そして花祭りへ～』が開催中。
- 豊田市稲武町「稲武郷土資料館」は、古橋懐古館より南西 5 km。
- ほうらいせん吟醸工房 関谷醸造 本社蔵は、会場より徒歩圏内です。

